

島根原子力発電所及び 人形峠環境技術センター周辺 環境放射線等測定結果（速報）

（令和5年度 第1四半期）

令和5年10月
鳥 取 県

ま え が き

鳥取県では、「令和5年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和5年4月から6月までの第1四半期の監視結果について、「鳥取県原子力安全顧問ワーキンググループ（モニタリング分野）」において検討し、確認されたものを速報としてとりまとめたものです。

目 次

まえがき

ページ

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1 測定方法	1
(1) 概要	1
(2) 実施機関	1
(3) 実施内容	1
(4) 測定結果の評価方法	1
2 令和5年度測定結果（第1四半期）	6
(1) 測定結果概要	6
(2) 測定項目別の結果	13

【Ⅱ 人形峠環境技術センター周辺】

1 測定方法	22
(1) 概要	22
(2) 実施機関	22
(3) 測定項目等	22
(4) 測定結果の評価方法	22
2 令和5年度測定結果	26
(1) 測定結果概要	26
(2) 測定項目別の結果	29

【Ⅲ 参考資料】

1 環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	33
(1) 島根原子力発電所周辺	33
(2) 人形峠環境技術センター周辺	38
2 気象測定結果	39
(1) 島根原子力発電所周辺	39
(2) 人形峠環境技術センター周辺	44

令和５年度平常時モニタリング測定結果（第１四半期）

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

１ 測定方法

（１）概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全 α 及び全 β 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

（２）実施機関

原子力環境センター

（３）実施内容

平常時モニタリングは、令和５年度環境放射線等測定計画に基づき実施する。以下のとおり当該計画の主な内容を抜粋する。

ア 測定計画

表Ⅰ－１－１のとおり。

イ 測定地点

図Ⅰ－１－１、図Ⅰ－１－２のとおり。

ウ 測定方法及び測定機器

表Ⅰ－１－２のとおり。

（４）測定結果の評価方法

空間放射線等の測定結果については、「平常の変動幅」と比較し、これを超過した項目については、気象要因等の自然条件の変化、原子力施設の稼働状況等を調査して、原因について検討する。

また、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考とする。

表 I - 1 - 1 令和5年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

1 空間放射線

区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
空間放射線量率	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	NaI (Tl) シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
	境港市外江町(外江公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館)	7 ※	連続測定	—	NaI (Tl) シンチレーション検出器 (可搬型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」
積算線量	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局) 境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市彦名町(彦名公民館)	9	4～6月 7～9月 10～12月 1～3月	36	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」

※ 7カ所に設置している可搬型モニタリングポストは、緊急時におけるOIL判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

2 大気浮遊じん全α及び全β放射能

区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん放射能	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	ZnS(Ag) + プラスチックシンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」

3 環境試料中の放射性核種分析

区分	試料	部位	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法
				頻度	採取月	γ核種	H3	Sr-90		
大気	浮遊じん	—	境港市上道町	毎月	毎月	12			γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
			米子市河崎			12				
降下物	降下物	—	境港市上道町	毎月	毎月	12			γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
			米子市河崎			12				
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町	3年毎 年2回	5, 11月	2	2	γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器 Sr-90： 低バックグラウンドベータ線測定装置 ※トリチウムは委託分析	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
			米子市河崎		R6					
		米子市福市	R7							
植物	松葉	二年葉	境港市幸神町	年1回	10月	1		γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
			米子市夜見町	年1回	10月	1				
土壌	公園 クワガタ [※]	表層	境港市馬場崎町	2年毎 年1回	7月	1	1	γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器 Sr-90： 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
			米子市河崎		R6					
海水	海水	表層水	境港市昭和町	2年毎 年2回	5, 11月	2	2	γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器 ※トリチウムは委託分析	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
			米子市大篠津町		R6					
農産物	米 白ネギ ダイコン ワカメ イカリ セイゴ ナマコ	精米	米子市夜見町	年1回	10月	1		1	γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器 Sr-90： 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
		可食部	境港市中海干拓地	年1回	12月	1				
		根	境港市中海干拓地	年1回	12月	1				
		可食部	境港市近海	年1回	4月	1				
海産生物		身	境港市近海	年1回	7月	1			γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」
		身	境港市近海	年1回	1月	1				
		身	境港市近海	年1回	3月	1				
		身	境港市近海	年1回	3月	1				
合計						62	4	4		

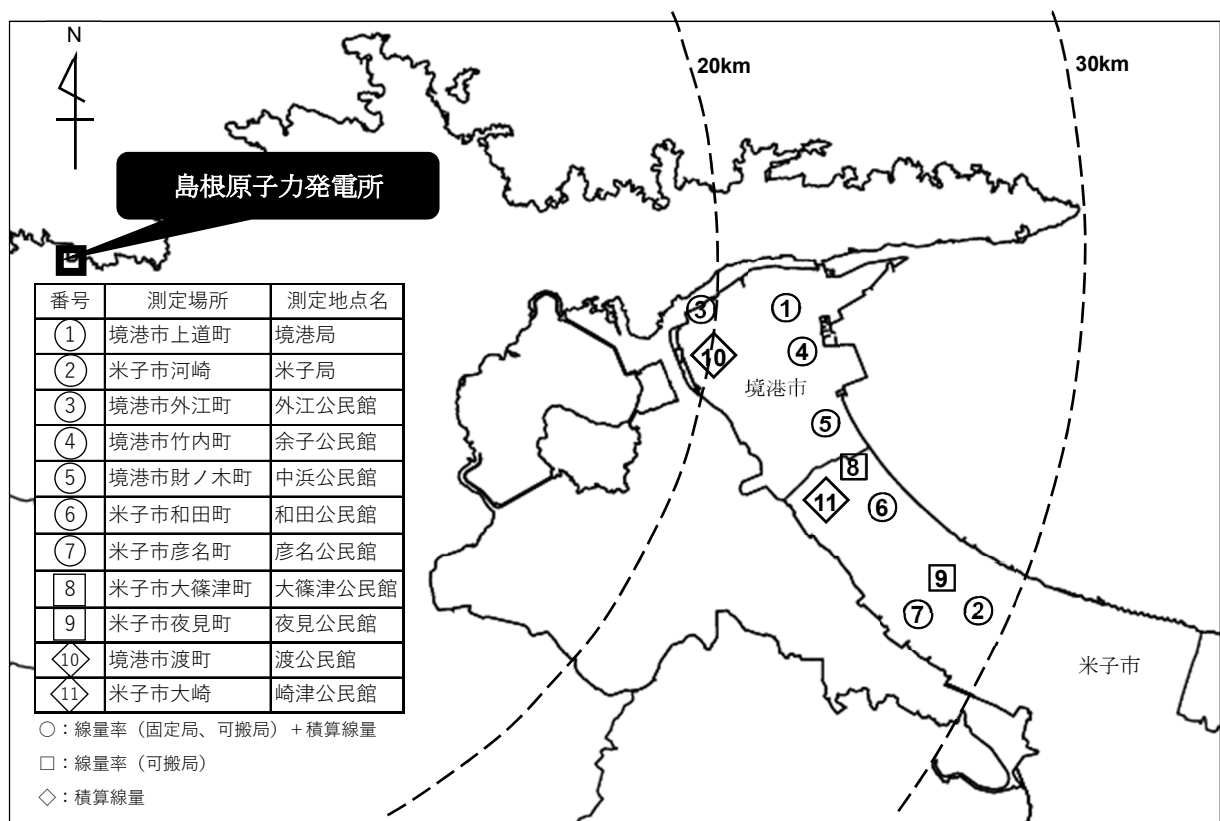


図 I - 1 - 1 空間放射線量率測定地点

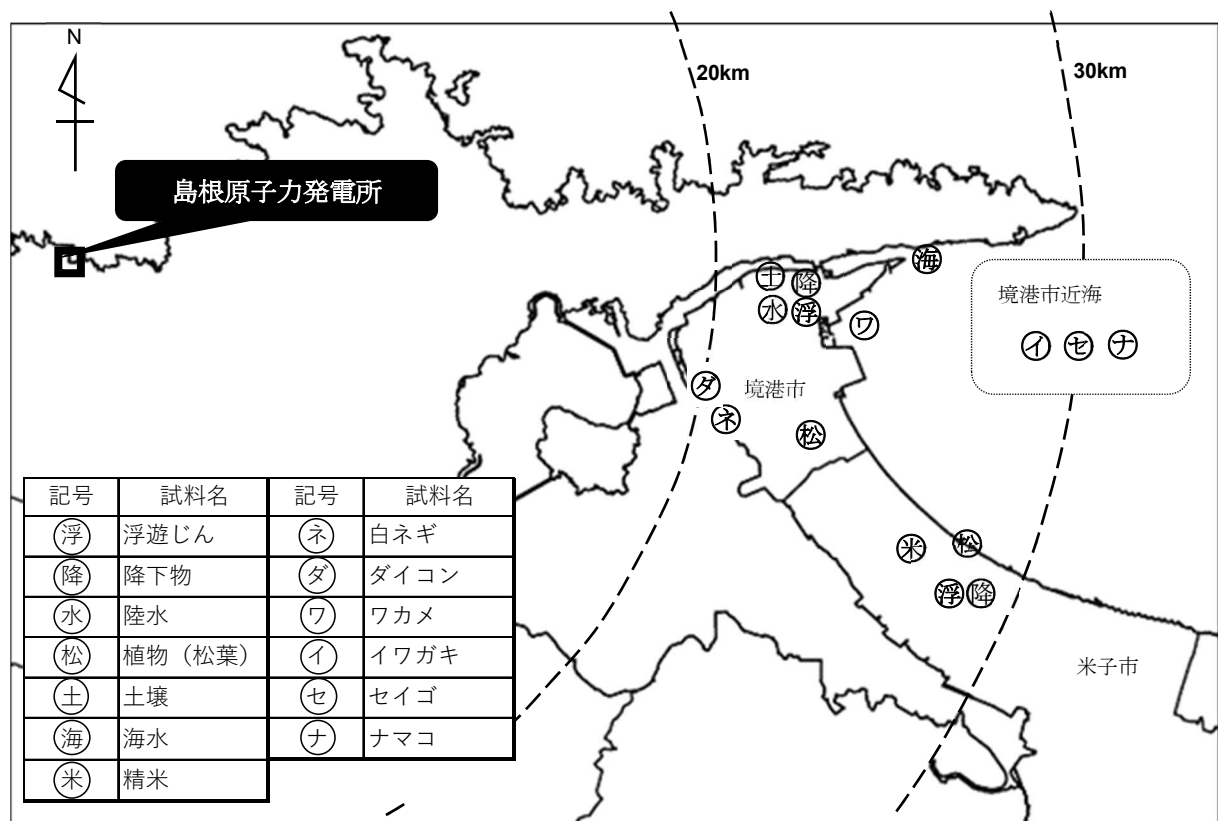


図 I - 1 - 2 環境試料採取地点

表 I - 1 - 2 測定方法及び測定機器

調査項目			測定方法	測定機器
空間放射線	空間放射線量率	NaI 放射線量率測定装置	連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境 γ 線測定法」	NaI (Tl) シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 MSR-R54-21545R1 (可搬型モニタリングポスト) 富士電機製 NAH37401-B-BY2YY-S 日立製作所製 MAR-1561BR3
	積算線量	積算線量計	連続測定 放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線測定法」	蛍光ガラス線量計 (RPLD) 千代田テクノル製 ガラス線量計素子
大気	浮遊じん放射能	放射性ダストモニタ	連続測定 放射線測定法シリーズ「全 β 放射能測定法」、JISZ4316「放射性ダストモニタ」 (200L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS (Ag) + プラスチックシンチレーション検出器 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1
環境試料中放射性核種	浮遊じん	捕集フィルター	γ 線スペクトロメトリー 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリー」	ゲルマニウム半導体検出器 セイコー・イージーアンドジー製 GEM30-70
	降下物	濃縮物		
	陸水	水試料/濃縮物		
	植物	灰化物		
	土壌	生試料/風乾物		
	海水	吸着物		
	農産物	生試料/灰化物※ ¹		
	陸水	水試料	トリチウム分析	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 (委託分析により実施)
	海水		放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
	陸水	化学処理後の沈殿物	放射化学分析	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
	土壌		放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」	
	農産物			

※1 生試料を測定後、灰化处理して再度測定

2 令和5年度測定結果（第1四半期）

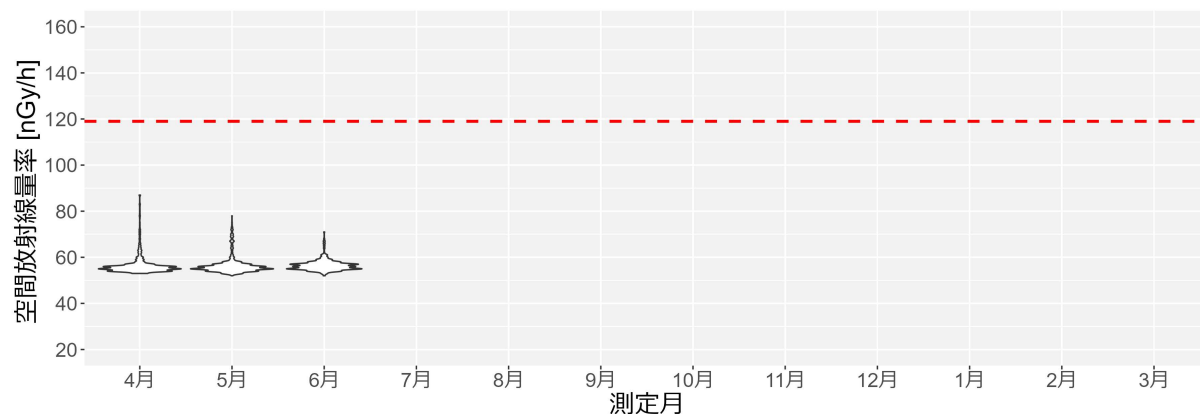
（1）測定結果概要

令和5年度第1四半期の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

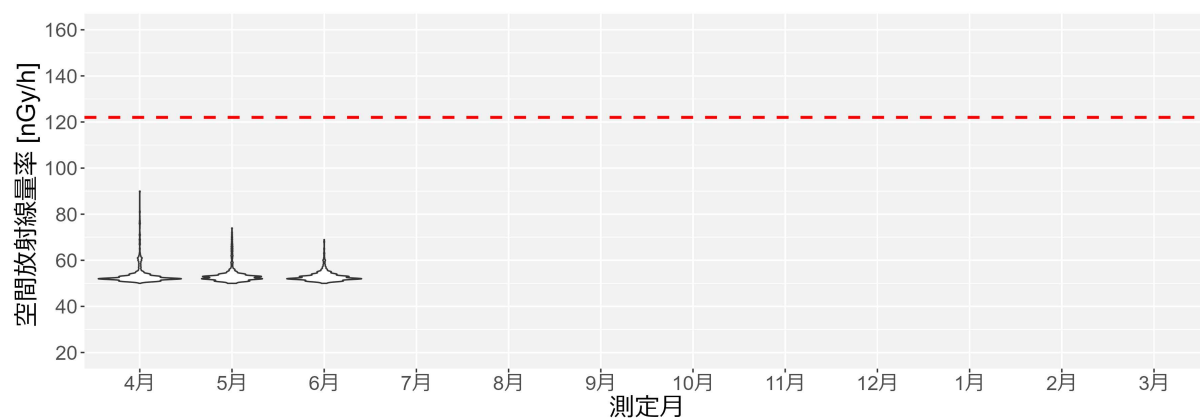
ア 空間放射線

（ア）空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。



境港局



米子局

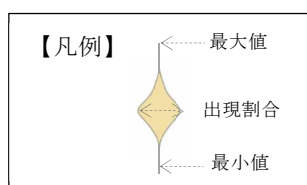
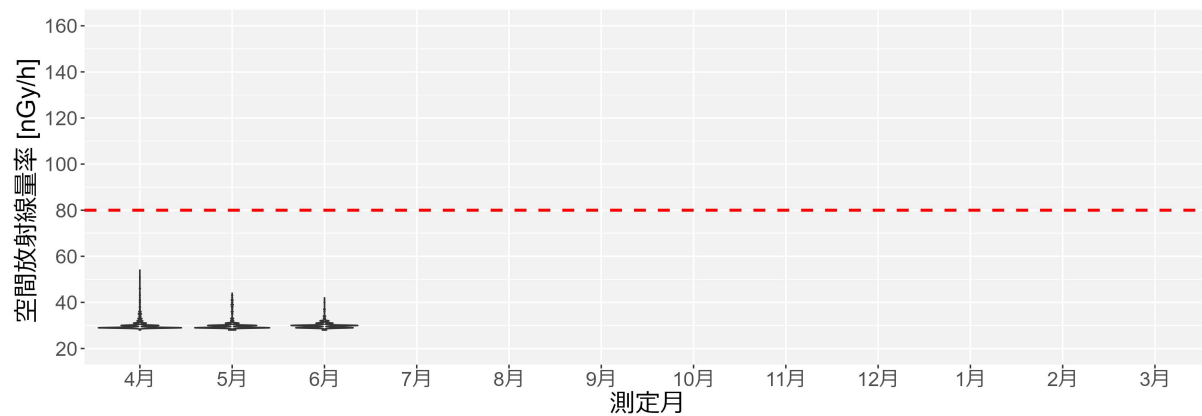
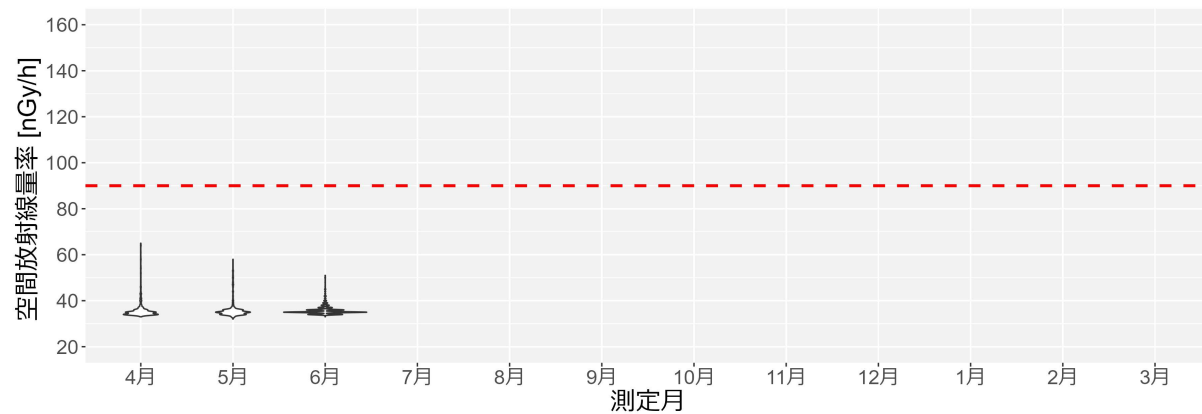


図 I - 2 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

(参考) 緊急時の可搬型モニタリングポスト7地点の空間放射線量率連続測定結果は、
全て平常の変動幅の範囲内であった。



外江公民館



余子公民館

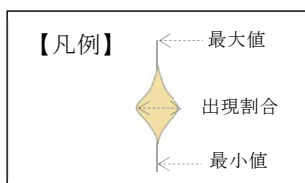
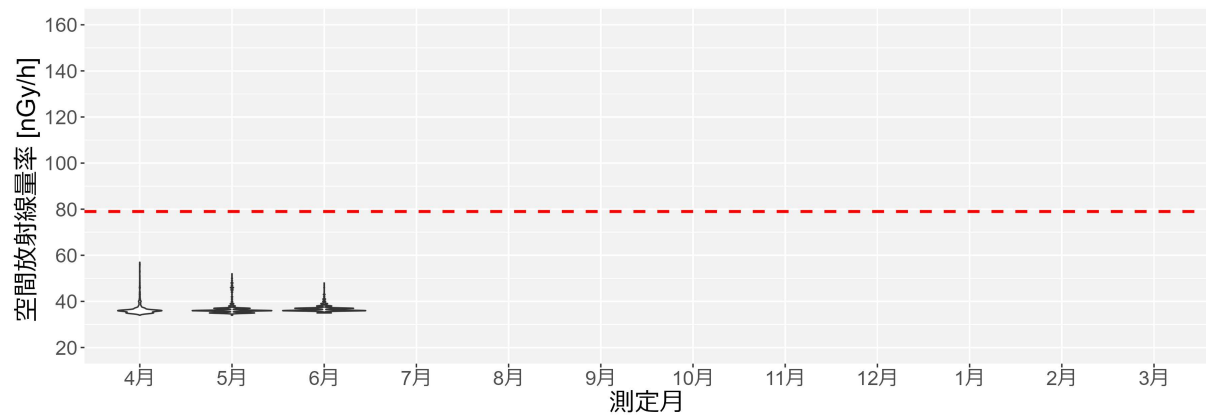
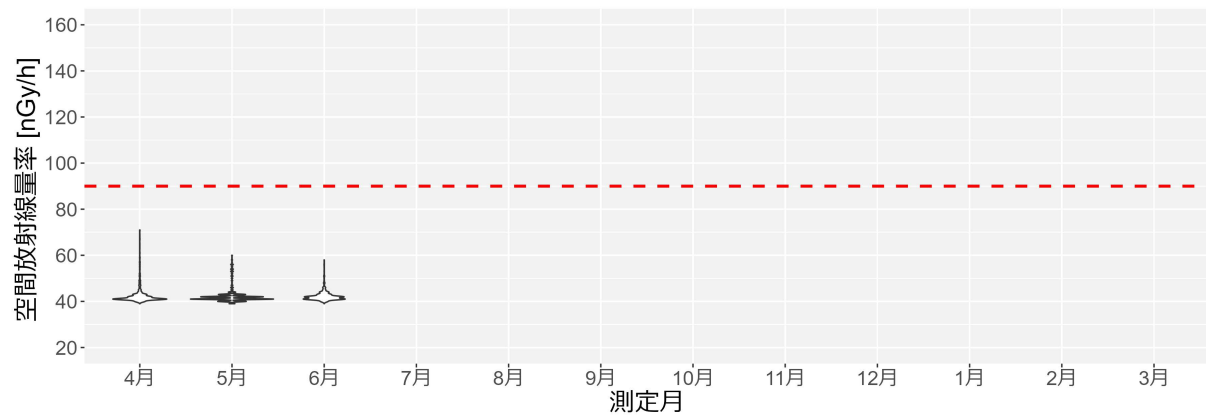


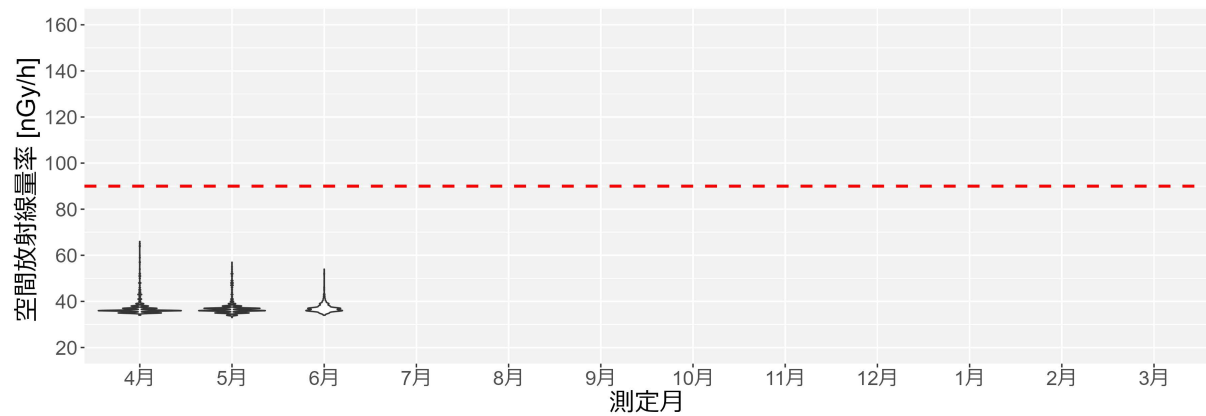
図 I - 2 - 1 b 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



中浜公民館



大篠津公民館



和田公民館

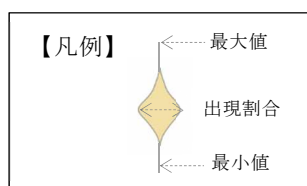
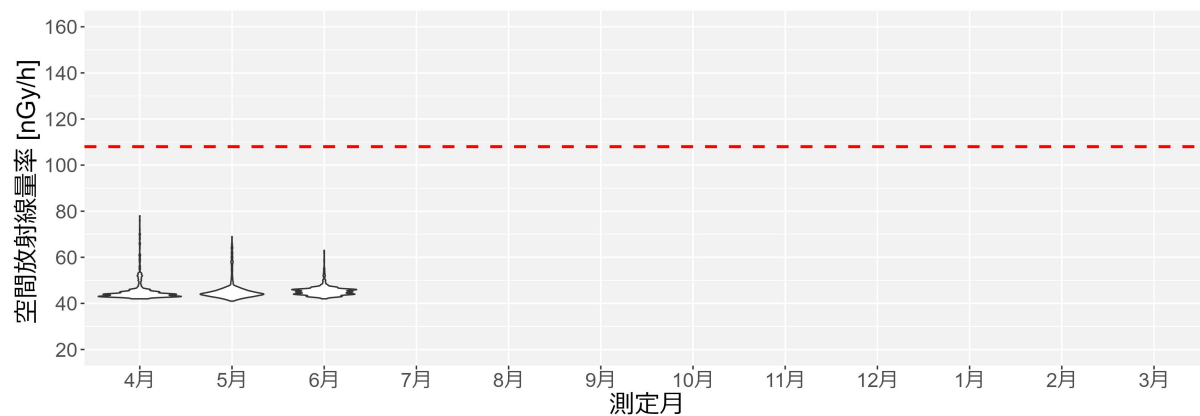
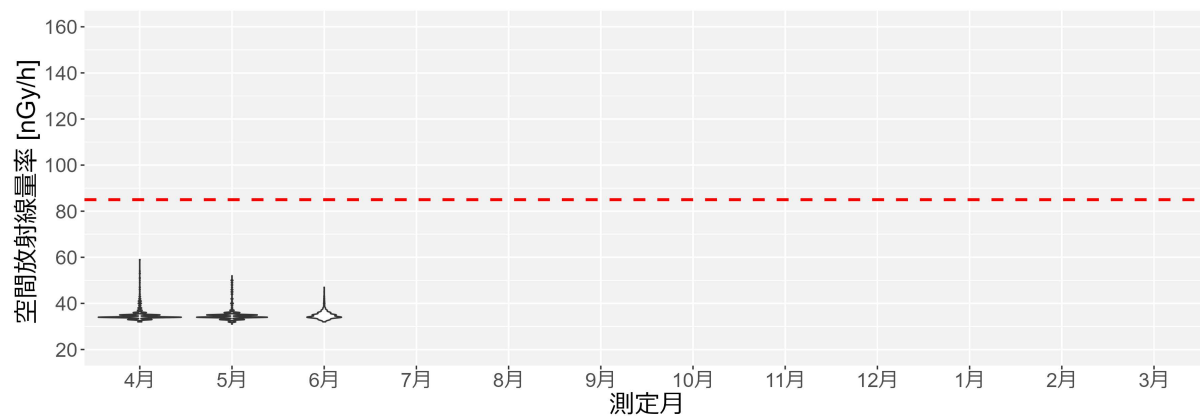


図 I - 2 - 1 c 空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）



夜見公民館



彦名公民館

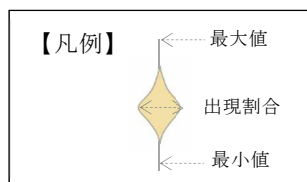
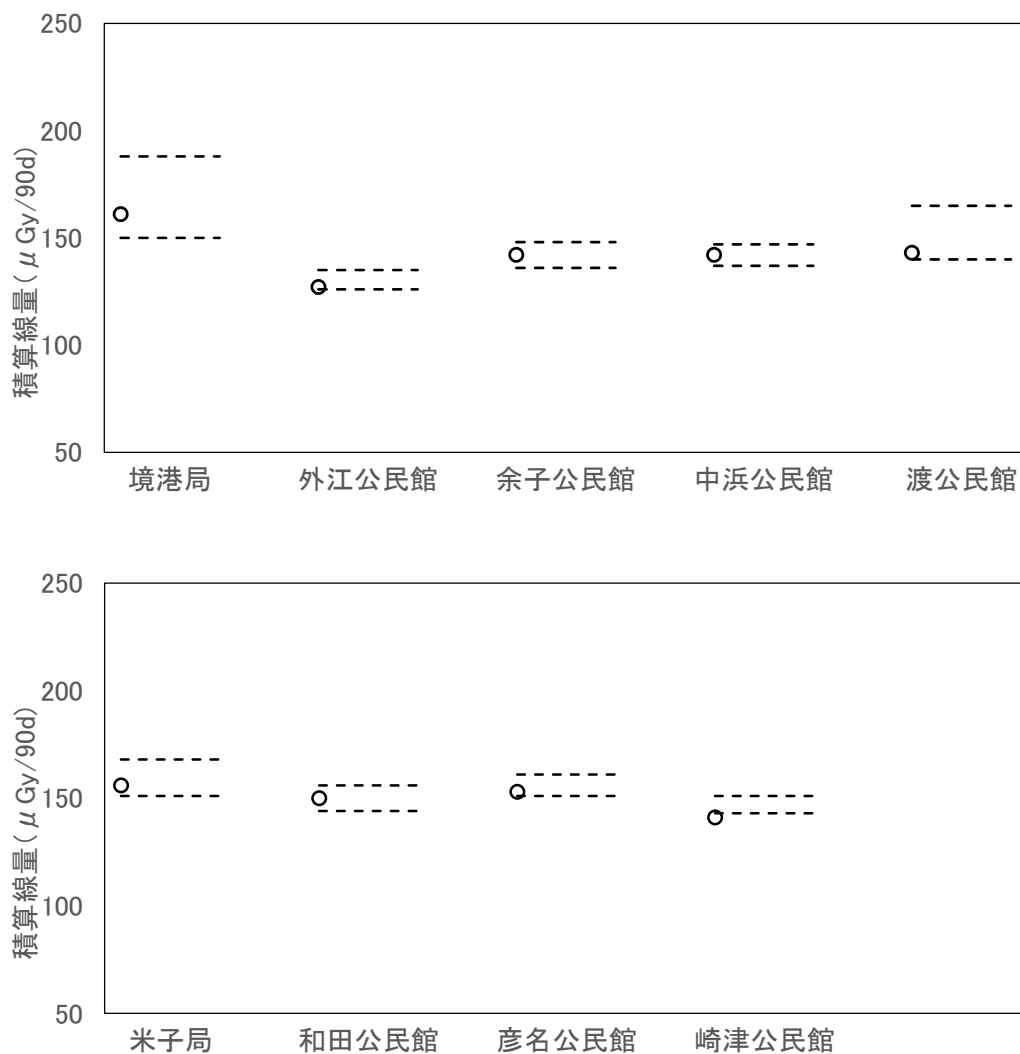


図 I - 2 - 1 d 空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）

(イ) 積算線量測定

崎津公民館以外の 8 地点については平常の変動幅の範囲内であったが、崎津公民館において平常の変動幅の下限をわずかに下回った。

積算線量は、平成 28 年度から測定を開始し、平常の変動幅を設定した期間は過去 8 年分の測定データであるが、周辺状況の変化が確認されなかったことから、平常の変動幅の下限を下回ったのは自然変動によるものと考えられる。



注：○は第 1 四半期の測定結果、点線は平常の変動幅を示す。

図 I - 2 - 2 積算線量の測定結果

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

境港局の大気浮遊じん全 β 放射能で平常の変動幅をわずかに下回った。

米子局及び境港局の大気浮遊じん全 α 放射能並びに境港局の大気浮遊じん全 β 放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I - 2 - 1 大気浮遊じんの全 α 放射能、全 β 放射能の概要（第 1 四半期まで）

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全 α 放射能	境港局	1,585	8	6 ~ 2,101	mBq/m ³
	米子局	1,546	8	5 ~ 2,266	
全 β 放射能	境港局	3,189	19	21 ~ 5,584	
	米子局	4,240	25	17 ~ 5,920	

注 1：200L/分で 3 時間集じん後、3 時間測定。

注 2：平常の変動幅は、H30～R04 年度の 5 年間の最小値から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種

(ア) γ 線スペクトロメトリー

米子局で採取した降下物から Cs-137 が検出されたが、平常の変動幅の範囲内であった。そのほかの分析結果では測定対象物質は検出されなかった。

表 I - 2 - 2 γ 線スペクトロメトリーの分析結果の概要（第 1 四半期まで）

区分	試料数	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24(6)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m ³
降下物	24(6)	ND	ND	ND	ND		ND	ND～0.14	MBq/km ²
陸水	2(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2(0)								Bq/kg 生
土壌	1(0)								Bq/kg 乾土
海水	2(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3(0)								Bq/kg 生
海産生物	4(1)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg 生

注：試料数のカッコ内は第 1 四半期の試料数

(イ) トリチウム分析

陸水（１試料）、海水（１試料）について、現在測定中。

表Ⅰ－２－３ トリチウム（H-3）の分析結果の概要（第１四半期まで）

区分	試料	試料数	分析結果	平常の変動幅	単位
陸水	水道水	2(1)	測定中	ND～0.47	Bq/L
海水	海水	2(1)	測定中	ND～0.39	

注：試料数のカッコ内は第１四半期の試料数

(ウ) 放射化学分析（Sr-90）

陸水（１試料）について、現在測定中

表Ⅰ－２－４ ストロンチウム（Sr-90）の分析結果の概要（第１四半期まで）

区分	試料	試料数	分析結果	平常の変動幅	単位
陸水	水道水	2(1)	測定中	(R05～)	Bq/L
土壌	公園	1(0)		0.30～0.43	Bq/kg 乾土
農産物	白ネギ	1(0)		0.013～0.025	Bq/kg 生

注：試料数のカッコ内は第１四半期の試料数

(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I - 2 - 5 固定型モニタリングポストの連続測定結果 (1 時間値)

(単位: nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	87	78	71											119
	最低値	53	52	52											34
	平均値	57	57	56											—
米子局	最高値	90	74	69											122
	最低値	50	50	50											37
	平均値	54	54	53											—

注1:「平常の変動幅」: 米子局は前年度までの5年間 (H30～R04) の最小値から最大値までの範囲。

境港局は、H31年1月～R04年3月の最小値から最大値までの範囲。

注2: 下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

表 I - 2 - 6 可搬型モニタリングポストの連続測定結果 (1 時間値)

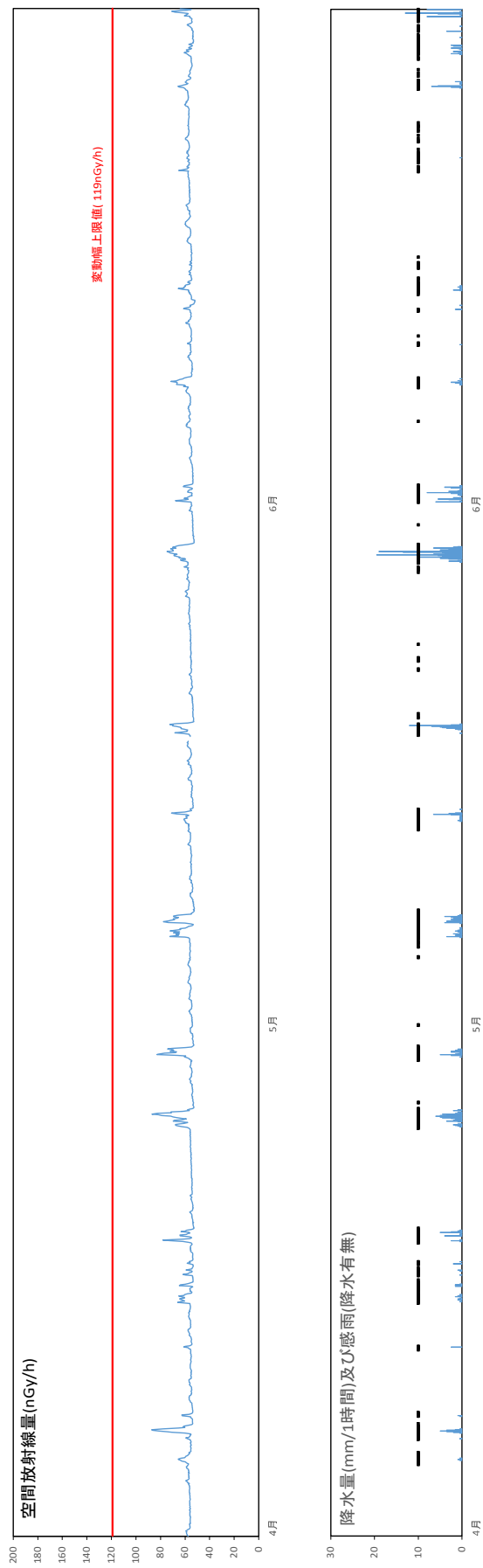
(単位: nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江 公民館	最高値	54	44	42											80
	最低値	28	28	28											19
	平均値	31	30	30											—
余子 公民館	最高値	65	58	51											90
	最低値	33	32	33											23
	平均値	36	36	36											—
中浜 公民館	最高値	57	52	48											79
	最低値	34	34	35											26
	平均値	37	37	37											—
大篠津 公民館	最高値	71	60	58											90
	最低値	39	39	39											28
	平均値	43	42	42											—
和田 公民館	最高値	66	57	54											90
	最低値	34	33	34											23
	平均値	38	37	37											—
夜見 公民館	最高値	78	69	63											108
	最低値	42	41	42											28
	平均値	45	45	45											—
彦名 公民館	最高値	59	52	47											85
	最低値	32	31	32											22
	平均値	35	35	35											—

注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間 (H30～R04) の最小値から最大値までの範囲。

注2: 下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

境港局



米子局

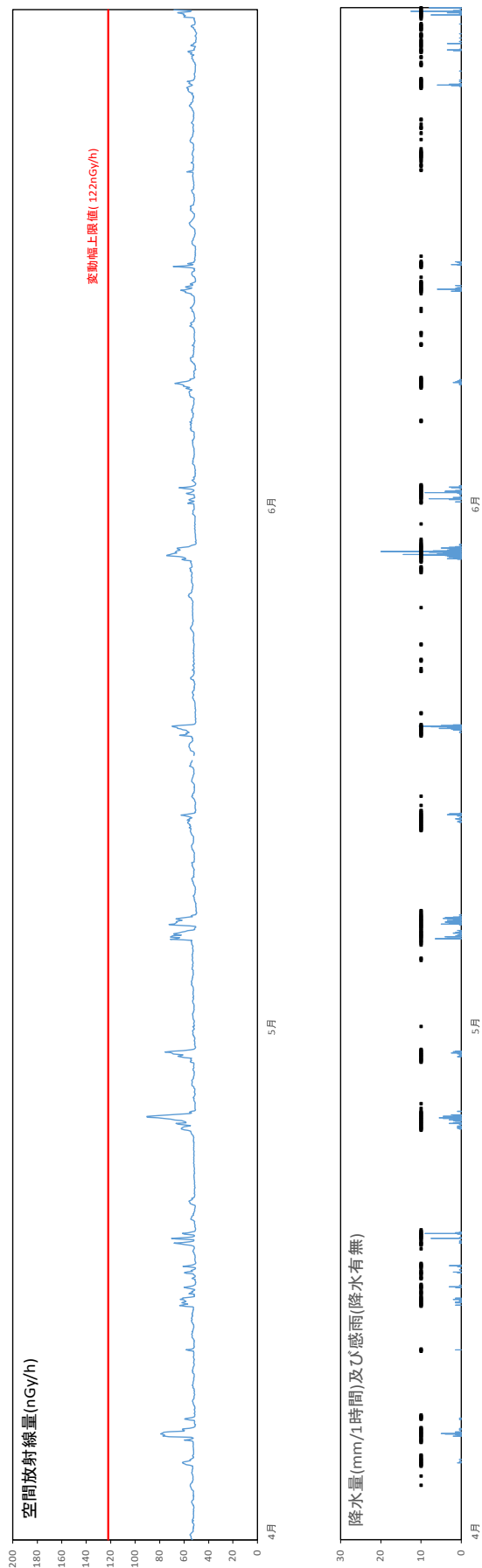


図 I-2-3a 空間放射線量率と降水量の関係(令和5年度第1四半期、1時間値)

(イ)積算線量測定

表 I - 2 - 7 積算線量の測定結果

(単位: 上段 $\mu\text{Gy}/90\text{d}$ 、下段 $\mu\text{Gy}/\text{h}$)

測定地点	第 1 四半期 (4～6 月)	第 2 四半期 (7～9 月)	第 3 四半期 (10～12月)	第 4 四半期 (1～3 月)	平常の変動幅 (暫定値)	年間線量 ($\text{mGy}/365\text{d}$)
境港局	161 (0.075)				150～188 (0.069～0.087)	
米子局	156 (0.072)				151～168 (0.070～0.078)	
外江公民館	127 (0.059)				126～135 (0.058～0.063)	
余子公民館	142 (0.066)				136～148 (0.063～0.069)	
中浜公民館	142 (0.066)				137～147 (0.063～0.068)	
和田公民館	150 (0.069)				144～156 (0.067～0.072)	
彦名公民館	153 (0.071)				151～161 (0.070～0.075)	
渡公民館	143 (0.066)				140～165 (0.065～0.076)	
崎津公民館	<u>141</u> (0.065)				143～151 (0.066～0.070)	

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R04年度)とする。

注2:下段()内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したもの。

注3:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

表 I - 2 - 8 大気浮遊じんの測定結果

(単位：mBq/m³)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 α 放射能	境港局	最高値	1,427	2,116	1,585											2,101
		最低値	54	32	8											6
		平均値	254	285	365											
	米子局	最高値	1,371	1,546	1,461											2,266
		最低値	56	30	8											5
		平均値	283	299	331											
全 β 放射能	境港局	最高値	3,943	5,463	3,981											5,584
		最低値	147	87	<u>19</u>											21
		平均値	671	747	949											
	米子局	最高値	4,055	4,218	4,240											5,920
		最低値	157	81	25											17
		平均値	783	830	1,019											
全 β — 全 α	境港局	最高値	3.2	3.0	3.1											
		最低値	2.4	2.4	2.3											
		平均値	2.6	2.6	2.6											
	米子局	最高値	3.1	3.2	3.8											
		最低値	2.5	2.6	2.8											
		平均値	2.8	2.8	3.1											

注1: 下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

注2: 3時間集じんし、3時間測定。

注3: 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(H29～R04年度)の最小から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）
（ア）大気（浮遊じん）

表 I-2-9 大気（浮遊じん）の測定結果

（単位：mBq/m³）

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 （暫定値）
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港局	4月4日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	5.8	0.53	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.1	0.48	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.3	0.38	
	7月1日～7月31日										
	8月1日～8月31日										
	9月1日～9月30日										
	10月1日～10月31日										
	11月1日～11月30日										
	12月1日～12月31日										
	1月1日～1月31日										
	2月1日～2月29日										
	3月1日～3月31日										
米子局	4月4日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.7	0.33	ND ～0.010
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.53	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.1	0.47	
	7月1日～7月31日										
	8月1日～8月31日										
	9月1日～9月30日										
	10月1日～10月31日										
	11月1日～11月30日										
	12月1日～12月31日										
	1月1日～1月31日										
	2月1日～2月29日										
	3月1日～3月31日										

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取（H24～29年度は月1回の24時間採取）

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H25～R04年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

(イ) 降下物

表 I-2-10 降下物の測定結果

(単位:MBq/km²)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港局	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	140	4.4	ND ～0.15
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	95	1.0	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	100	1.7	
	7月1日～8月1日										
	8月1日～9月1日										
	9月1日～10月1日										
	10月1日～11月1日										
	11月1日～12月1日										
	12月1日～1月5日										
	1月5日～2月1日										
	2月1日～3月1日										
	3月1日～4月4日										
米子局	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	0.14	160	6.1	ND～ 0.16 (注3)
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	93	1.3	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	140	1.6	
	7月1日～8月1日										
	8月1日～9月1日										
	9月1日～10月1日										
	10月1日～11月1日										
	11月1日～12月1日										
	12月1日～1月5日										
	1月5日～2月1日										
	2月1日～3月1日										
	3月1日～4月4日										

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3:米子局はR01年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R01年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I-2-11 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
水道水	蛇口水	境港市上道町	R05.05.17	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	40	ND
			(11月採取予定)										

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I-2-12 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
松葉	二年葉	境港市幸神町	(10月採取予定)										0.18～0.79
		米子市夜見町	(10月採取予定)										0.050～0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(オ) 土壌

表 I-2-13 土壌の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
公園	表層	境港市馬場崎町	(7月採取予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I-2-14 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海水	表層水	境港市昭和町 (美保湾)	R05.06.13	ND	ND	ND	ND		ND	ND	23	170	— (R05～)
			(11月採取 予定)										

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 農産物

表 I - 2 - 15 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	(10月採取予定)										0.16～0.28
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	(12月採取予定)										ND
ダイコン	根 可食部	境港市中海干拓地	(12月採取予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とするが、米は測定開始から10年経過しないため暫定値(H26～R04年度)とする。

注3:米はR01年度に生産者の変更に伴い、採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ク) 海産生物

表 I - 2 - 16 海産生物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
ワカメ	可食部	境港市近海	R05.04.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.5	210	ND
イワガキ	身		(7月採取予定)										ND
セイゴ	身		(1月採取予定)										0.10～0.16
ナマコ	身		(3月採取予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H25～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とするが、ワカメ・イワガキ・セイゴは測定開始から10年経過しないため、暫定値(H26～R04年度)とする。

エ 環境中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I-2-17 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町	R05.06.09	測定中	ND ~ 0.47
				(11月採取 予定)		
	海水	表層水	境港市昭和町(美保湾)	R05.06.13	測定中	— (R05~)
				(11月採取 予定)		

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H27~R04年度)とする。

オ 環境中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I-2-18 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町	R05.06.09	測定中	(R05~)	mBq/L
				(11月採取 予定)			
土壌	公園	表層	境港市馬場崎町	(7月採取 予定)		0.30~0.43	Bq/kg乾土
農産物	白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	(12月採取 予定)		0.013~0.025	Bq/kg生

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(陸土:H30~R04年度、白ネギ:R01~R04年度)とする。